

農家のための  
最新情報あぐり  
最前線

※防除薬剤の数字は、安全使用基準【希釈倍数・（収穫何日前まで使用可能か／通算使用可能回数）】を表しています。農業安全使用基準を守り、使用してください。

## 水稲



## ●中干し

7月上旬頃から『中干し』の時期です。倒伏させず、目標茎数を確保して、良品質の米を生産する重要な作業となります。『中干しの効果』

- ・茎数が過剰に増えるのを防ぐ。
- ・株元を硬くし倒伏を防ぐ。
- ・土壌中に酸素を供給し根腐れを防止。
- ・田面を硬くし収穫作業を容易にする。
- ・など、丈夫な稲作りや収穫作業の能率向上のために欠かせない作業です。

## 《中干しを始める目安》

1株あたりの茎数が20本程度になった頃で、田植えから約30〜40日後から始め、田面に軽くヒビが入るまで行います。なお、水稲の生育や水田の特性により、次のように強弱をつけましょう。

◇茎数が多い、葉色が濃い、排水の悪い水田、粘土質の水田では土面に1〜2cmのヒビが入るまで強めに干します。

◇茎数が少ない、葉色が薄い、水保ちの悪い水田、砂質土の水田では土面に細かいヒビが入る程度とします。

## 《中干し以降の水管理》

中干し後、急激に湛水状態にすると根傷みますので、走り水を入れて水に慣らしてから本格的に入水します。

◎幼穂形成期〜出穂期にかけての水管理  
この時期は、稲にとって最も水が必要な時期です。幼穂形成期〜穂ばらみ期には間断かんがいをを行い、出穂期は水をたっぷり入れるようにしましょう。

## ●穂肥

7月中旬頃より早生品種から施用します。施用日の基準は栽培指針を参考に、品種、葉色を見ながら増減してください。

## ●病害虫防除

## ◎いもち病

比較的低温で曇雨天が続く場合や、窒素過多で葉色が濃い場合に発生が多くなります。葉いもちを放置すると空気伝染で拡大し、株のずりこみ症状や穂いもちが多発し減収となります。病勢が進展し

てからの防除は困難なので、初期防除を徹底しましょう。また、補植用置き苗が発生源の1つとなるので、必ず処分しましょう。

## ◎紋枯病

梅雨以降高温が続くと発生します。窒素過多や密植は発病を助長するので注意しましょう。病斑は水際付近の茎から上に向かって拡大するので、株元まで薬剤がかかるように散布することが重要です。

## 《液剤》

▽7月下旬

※早生品種

・トレボンEW 1000倍（14日／3回）

※いもち病・紋枯病発生のおそれがある場合は「アミスターエイト 1000倍（14日／3回）」を加用して下さい。

※中晩生品種

・トレボンEW 1000倍（14日／3回）

・アミスターエイト 1000倍（14日／3回）

《豆つぶ剤》

▽7月中〜下旬 ※早生・中晩生

・ワイドパンチ豆つぶ 250g／10a（35日／1回）

## ●除草

## 《とりこぼし雑草対策》

次のいずれかの薬剤で防除しましょう。

・サンパンチ1<sup>®</sup>（粒） 1kg／10a

（移植後15日〜ノビエ3.5葉期但し収穫60日前まで／1回）\*湛水散布

・クリンチャーバスマE（液） 薬量1000ml・希釈水量70〜100ℓ／10a

（移植後15日〜ノビエ5葉期但し、収穫50日前まで／2回）\*落水散布

（移植後15日〜ノビエ5葉期但し、収穫50日前まで／2回）\*落水散布

## 新シヨウガ

## ●収穫

新シヨウガは乾燥すると、汚れが落ちにくくなり品質低下にもつながります。収穫後は布などで覆うか、散水して早めに水洗いするようにしましょう。

## ●換気と灌水

通風が悪く湿度が上昇すると紋枯病が発生しやすくなり、塊茎が変色します。ハウスのサイドを開けたり、スソ張りビニールを取り除いたりして、換気しましょう。換気量が増加すると乾きやすくなるため、灌水量を増すようにしましょう。

## ●病害虫防除

◎アワノメイガ（10月頃まで発生）

・パダンスG（溶） 1500倍（7日／5回）

・フェニックス（顆） 2000〜4000倍（前日／2回）

## ◎紋枯病

・バリダシン（液5） 800倍（14日／4回）

・モンカット（フ40） 2000倍（3日／5回）

◎根茎腐敗病

根茎腐敗病が発生したら被害株を早めに除去し、必ず薬剤散布してください。

・ユニフォーム（粒） 18kg／10a（30日／3回）\*生育期土壌表面散布

・ランマン（フ） 500〜1000倍（2〜3ℓ／㎡\*土壌灌注）（30日／3回）

収穫前日数には十分注意しましょう。

また、塊茎の肥大が進んでいれば前倒し出荷をするようにしてください。

## ピーマン



通路をカラカラに乾燥させないで！

### ● 尻腐れ果、日焼け果

この時期になると尻腐れ果、日焼け果の発生が多くなります。

尻腐れ果は、①地温が高い、②通路が乾燥する、③チッソやリン酸、カリの過多による石灰分の吸収阻害が原因となります。また、根傷みも原因の1つです。対策としては乾燥させないよう通路への散水、石灰分の補給としてCa液肥500倍液を葉面散布してください。

日焼け果は、曇雨天が続いた後の晴天時に発生するため、根が水分を十分吸収できるように通路への散水が必要です。

### ● 整枝

各主枝の生育バランスを図りながら混み合う部分の小枝や徒長枝を整枝すると日当たりや、風通しも良くなります。また、薬剤散布時に薬剤が十分樹にかかり防除効果も上がります。少々強い整枝でも減収しません。

## トウガン



### ● 追肥

・ニューパワーユークキ262 (40 kg / 10 a)  
または

・BMスーパ野菜君 (60 kg / 10 a)

※時期や量は、株の生育や気象、土壌条件により加減してください。

### ● 病害虫防除

### ◎ ハダニ類

高温・乾燥により発生しやすくなるため初期防除を徹底し、抵抗性をつけないよう、必ずローテーション防除してください。

・サンマイト(フ) 1000〜1500倍(前日/2回)  
・コテツ(フ) 2000倍(前日/2回)

### ◎ 炭そ病

多雨期に発生しやすいので、排水対策を徹底してください。発生すると被害が拡大するため、予防的な防除を心掛けましょう。

【予防】ダコニール1000 1000倍(前日/4回)

【発生初期】ストロビー(フ) 3000倍(3日/3回)

## ホウレンソウ



### ● 播種

生育を揃えるために播種前にムラのないよう灌水し、覆土はできるだけ薄くします。また、夏期高温期の播種は、発芽不良や苗立枯病が発生しやすいため、播種後、土壌表層に卵殻エース(40〜60 kg / 10 a)を施用しましょう。土壌表面温度を下げ、石灰の補給にもなります。

### ● 灌水

播種後は十分に灌水し、発芽までは乾燥に注意しましょう。ただし、過湿になると立枯病が発生するので注意が必要です。また、収穫前7〜10日の灌水はズルケの発生を助長するため、灌水を止めましょう。

## コマツナ



### ● 播種

本葉1〜2枚までに乾燥すると、生育不良や不揃いの原因となるため、播種前にムラのないよう灌水し、覆土はできるだけ薄くしてください。

夏期栽培では高温で葉縁が裏側に巻くカップリングが発生しやすいので、換気と40%程度の遮光資材で遮光しましょう。

### ● 灌水

灌水は午前中に行いましょう。夕方や曇天時の灌水は軟弱徒長の原因となります。収穫前7〜10日は灌水しないでください。

## キュウリ



### ● 摘葉・灌水

茎葉が混んでくると落花や不良果が生じるため老化や病気になった葉を摘葉してください。土の乾燥具合を見て2〜3日に1回灌水を行ってください。

### ● 病害虫防除

▽7月中旬  
◎うどんこ病・黒星病・つる枯病  
・トリフミン(水) 3000〜5000倍(前日/5回)

◎アザミウマ類・アブラムシ類・ウリノメイガ・コナジラミ類

・ベネビアOD 2000倍(前日/3回)

※展着剤の加用や、TPN(ダコニール1000等)・ストロビルリン系剤(シ

グナムWDG等)・銅剤(カスミンボルドー等)を含む農薬との混用は被害を生じる可能性があるため混用しない。

## ナス



### ● 灌水

晴天日が続く葉が萎れる場合は、早期に畝間灌水を行ってください。盛夏期は夜間に行ってください。

### ● 病害虫防除

▽7月中旬

◎うどんこ病・コナジラミ類・チャノホコリダニ  
・パルミノ 2000倍(前日/3回)

◎オオタバコガ・ハスモンヨトウ・ハモグリバエ類・アザミウマ類

・プレオ(フ) 1000倍(前日/4回)

◎チャノホコリダニ・ハダニ類  
・ダブルフェース(フ) 2000倍(前日/1回)

## ウメ



収穫作業も終盤を迎えます。収穫後はお礼肥の施用・灌水を行います。

### ● お礼肥 (7月上旬)

果実生産に消耗した樹体栄養の回復を図るため、エコレット266 (50 kg / 10 a)を施肥してください。

### ● 灌水

ウメは浅根性なので、高温乾燥の影響を受けやすく、土壌が乾燥すると早期落葉を招き翌年の開花や結実に悪影響を及

ぼします。晴天日が7～10日続いた場合は、1樹あたり100ℓ程度灌水してください。

## モモ



早生品種から収穫が始まります。熟度の進行に注意し、適期収穫に努めましょう。

### ●除袋

収穫の5～10日前に行います。果頂部と縫合線部を除き、果皮色が白っぽくなる頃が目安です。除袋以後、曇雨天が続くと予想される場合には、除袋を2～3日早めて着色向上を図ります。

### ●反射マルチの敷設

樹の内部や下枝の果実の着色向上を目的に、除袋2～3日後、果実の先端が少し着色し始めた頃に敷設します。

### ●病害虫防除

#### ▽収穫前

◎灰星病・ホモブシス腐敗病

・ベルクート(水) 200倍(前日/3回)

◎シンクイムシ類・アブラムシ類・モモハモグリガ

・ロデイー(水) 1000倍(前日/5回)

◎クビアカツヤカミキリ・カメムシ類

・アグロスリン水和剤(水) 1000倍(前日/5回)

◎クビアカツヤカミキリ

・モスピラン(顆) 2000倍(前日/3回)

## カキ



### ●摘果

傷果・奇形果・小玉果等を摘果して、果実の肥大促進を図りましょう。

### ●病害虫防除

▽7月中旬 ※富有柿

◎落葉病・炭そ病

・エムタイファー(水) 600倍(45日/2回)

◎カイガラムシ類・カキグダアザミウマ

・モスピラン(顆) 2000倍(前日/3回)

●早期出荷対策(白マルチの場合)

・刀根は7月下旬より敷設

・平核無は8月上旬より敷設

## ミカン



7月は生理落下が終了します。着果の状態に合わせた粗摘果を実施しましょう。

### ●粗摘果

極早生の温州ミカンなど、着果の多い樹は早期に摘果しましょう。また、中晩

柑類の着果過多樹や生理落下が少ない「はるみ」においても早期摘果を徹底し

初期肥大を促します。

●灌水

梅雨明け後、乾燥するような場合は灌水が必要で、特に中晩柑類では、初期

肥大の確保や酸高の防止のため、早めに灌水しましょう。目安は、果実が日中柔

らかく朝になると硬くなっている場合は

数日後に灌水が必要で、朝になっても柔

らかい場合は早急に灌水してください。

### ●病害虫防除

▽7月上旬

◎黒点病

・ジマンダイセン(水) 600倍(30日/4回)

または

・ペンコゼブ(水) 600倍(30日/4回)

◎ミカンサビダニ・ゴマダラカミキリ・

チャノホコリダニ

・グレーシア(フ) 400倍(7日/2回)

●除草剤

・ラウンドアップマックスロード 200倍

(7日/5回)

または

・タツチダウンIQ 200倍(5日/3回)

●熟期促進(満開70日後)

・フィガロン(乳) 3000倍(14日/2回)

\* 10ℓあたり300ℓ

## 土壌分析を しましょう!

土壌分析を希望する方は、乾燥

させた200g程度の土を袋に入れ、

住所・氏名・電話番号と品目名(水

稲・キャベツ・ミカン等)を記入し、

7月18日(金)までに各営農センタ

ーまでご持参ください(1点500円)。

分析結果は8月中

旬ごろにご連絡い

たします。



みんなで  
取り組む!!

## 水稲のジャンボタニシ対策



地域ぐるみ防除(一斉捕殺)

一斉捕殺作業

7月12日(土)、13日(日)、8月23日(土)、24日(日)

和歌山市全域

注1) 一斉捕殺時のジャンボタニシは、分別収集による指定ゴミにて回収させていただきます。

注2) 上記日程において、地域ぐるみでジャンボタニシを捕殺していただいた場合は1袋(10kgが目安)につき500円の助成をさせていただきます。上記日程の日曜日・正午までに各営農センターまでお持ちください。

なお、助成を希望する場合は、必ず事前に各営農センターまでご連絡ください。

地域の活動を  
お届けします！

ふれあい TOPICS トピックス

## 組合員の笑顔を求めて夢を現実に 新規作付面積増大運動

### 「フロンティア2025」

わかやま地域では「フロンティア2025」と題して、戦略品目の新規作付面積20ヘクタールの増大に挑戦しています。2年前から取り組み、今年も続く経済部門の冠プロジェクトです。

管内は和歌山平野を中心に野菜栽培が盛んで、生産量は関西有数。いずれもオリジナルブランド「紀州てまり野菜」として出荷しています。一方、生産者の高齢化、担い手不足を背景とした作付面積の減少が課題に。生産基盤を強化し、市場からの要望の数量確保、産地競争力の更なる強化を図ることで持続可能な農業を実現しようと取り組んでいます。

戦略品目は、キャベツ、ハクサイ、ブロッコリー、レタス、ホウレンソウ、コマツナ。7月31日まで営農指導員を中心に、営農センター窓口職員を含めた全員体制で組合員への声掛けに臨んでいます。

生産活動を後押しするため、生産資材費や省力機械の購入費、灌水用井戸掘り費用、灌水資材費を



支援。秋冬作からの出荷に向け、きめ細かい営農指導で初回からの高品質安定生産をサポートします。

合言葉は「組合員の笑顔を求めて夢を現実に」。新たな作付けに関心のある方は、最寄りの営農センターまで、ぜひ、お問い合わせください。



## 青年部わかやま地域本部 第18回総会

青年部わかやま地域本部は、第18回総会を地域本部で開き、規約改定、役員改選を含めた全4議案を全会一致で承認。新部長に山本康平さんが就任しました。

部員は同地域に居住する50歳未満の男性農業者。現在は44人が在籍しています。山本部長は、部員同士の交流の希薄化を課題とし、「ブロックなど小規模な集団で活動を企画、提案していく『小さな意思決定』で交流を深めていきたい」とあいさつしました。

本年度は県JYA発足に伴い、県域のJYA青年部が誕生しました。他地域との連携や交流など、新たな活動に期待が高まります。



## 第9回やろう会総会 収穫体験の参加者数、過去最多

わかやま地域男性組織やろう会は第9回総会を中央営農センターで開き、昨年度の活動報告、今年度の計画、規約一部改正など全4議案を全て可決承認しました。

総会では、「親子トウモロコシ収穫体験」の令和6年度参加者が過去最高となったことを報告。今年度も7月にトウモロコシ、12月に野菜の収穫体験を計画しています。意見交換では「もっと自主的活動したい」「食農教育に関わる機会を増やしていきたい」など意欲的な声が挙がりました。

総会終了後には会員が作成した前年度活動の動画を放映。振り返るとともに、連帯感を高めました。



## ふれあい TOPICS トピックス

分かりやすさが好評  
令和7年度園芸講座開講

西部・北部・中央・南部・東部  
営農センターで、令和7年度園芸  
講座が開講しました。

偶数月に6回、毎年開いていま  
す。受講生は家庭菜園を始めた方  
から農業の担い手までさまざま  
です。内容は各センター管内の栽培  
環境に基づき、独自に設定。本年  
度は35人が受講します。

17人が受講する北部営農センタ  
ーの初回は、オクラ、ナス、トウ  
モロコシの栽培方法について講  
義。分かりやすいと評判で、収穫  
までセンター職員が都度サポート  
していきます。来年の2月まで、  
秋冬野菜の栽培や収穫体験など内  
容を広げていきます。



## 第1回女性会わかやま地域本部総会



女性会わかやま地域本部は第1回総会を開き、合併後の新た  
なスタートを切りました。会員171人が出席。堀川政代会長  
は「全国のJAで女性の活動、女性の力が注目を集めています。  
活動をさらに盛り上げ、安心して暮らせる豊かな地域づくりに  
一層貢献していきましょう」とあいさつしました。

総会では、「元氣な地域社会づく  
り」をテーマに人と人との「か  
わり」や「つながり」を深める  
活動を活発化することを確認。今  
年度の活動として県域に拡大した  
ポッチャ大会で他地域女性会との  
交流やフードドライブの拡充、ふ  
れあい旅行や防災訓練、組織リー  
ダーを育成する研修会の実施などを予定しています。総会  
終了後はmottoひょうこの栗山剛氏が女性活動への関  
わり方を講演。会員同士で意見を共有する場も設け、有意  
義な時間となりました。



## キラキラ女性会

## 女性大学第5回講座

女性大学第5回講座は「学びの時間」  
大切な命を守るため。クイズ形式で  
防災知識を深めました。出題は「地震が  
起きたとき一番最初にすることは？」の  
緊急時の行動から「避難所生活で注意す  
べき健康問題は？」など。クイズだけ  
なく、避難時に運べる防災リュックの重  
量は女性で一般的には  
約10キロと紹介し、水  
の入ったペットボトル  
を入れて重量を体験す  
るなど、普段は意識す  
ることが少ない気付き  
の場となりました。



## 西和佐支部

中央営農センターで「夏  
野菜づくり講座」を開きま  
した。講師は児玉副センタ  
ー長です。会員はキュウリ  
とミニトマトの栽培方法に  
熱心に耳を傾け、「おいし  
い野菜を  
作りたい。  
収穫まで  
楽しみ」  
と期待を  
込めてい  
ました。

今年も  
やります!

ひまわり畑



わかやま地域では、地域美化運動の一環として今年度も「ひまわり畑」を実施します。  
開花状況などはJAわかやまInstagramに随時投稿していきますので、ぜひ、ご覧ください。

愛菜てまりっこ 7～8月

お中元フェア 開催中

愛菜てまりっこのおすすめギフト！

7月31日(木)まで  
早期割引実施中！

7月7日(月)

七夕フェア

七夕にちなんだセールを開催！！



7月10日(木)

てまりっこの日

月に一度の大特価！

7月25日(金)～7月26日(土)

感謝セール

旬の農産物を感謝価格でご奉仕！！

8月9日(土)

てまりっこの日

月に一度の大特価！

8月22日(金)～8月23日(土)

感謝セール

旬の農産物を感謝価格でご奉仕！！

Instagramで  
お得な最新情報を  
発信中！

無料相談会

弁護士無料法律相談会

権利・示談・債務・相続：など、組合員の皆さまの法的な相談に、弁護士が直接ご対応します。

「開催日時」 毎月第4木曜日

9時30分～12時（お一人様30分程度）

「開催場所」 わかやま地域本部2階第3会議室

7月の開催日は7月24日(木)です。

相談には予約が必要です（先着5組）。最寄りの支店またはわかやま地域本部総務部（☎471-1373）までお問合せ・お申込みください。

なお、今回の開催予定は8月28日(木)です。

年金相談会／相続・遺言相談会

社会保険労務士・税理士が直接ご対応いたします。事前予約が必要です。開催支店にお問い合せ・お申し込みください。

「開催日程」

7月17日(木) ひがし支店

☎471-0848

8月21日(木) 雑賀支店

☎444-0377

開催時間はいずれも10時～15時です。

ローン相談会

住宅ローン・リフォームローン・カーローン・教育ローンなど。借換、お見積り、お気軽にご相談ください。

・わかやまローンセンター（JAビル支店隣）

☎423-4160

平日（9時～17時・日曜（10時～16時）

## MY FAMILY

レオくん(1オ・ミニチュアダックスフンド)

大亦博さん・敦子さん

ラックサックスカセム理絵さん(直川)

家族の一員として  
かわいい存在で  
す。でも、噛むの  
はおやつだけにし  
てね笑。

家庭菜園で採れたキュウリが大好物。いつも丸かじりとのこと。理絵さんは手作りビーフジャーキーなどで健康にも気を遣っています。

ミニチュアダックスフンドのレオくん。家族は家庭菜園をする博さんと敦子さん、タイで国際結婚をした象使いの理絵さんです。

出会いは去年の春、ペットショップで博さん自身の誕生日プレゼントとして理絵さんが席を外している間に飼うことが決定。戻るとあとは支払いだけの状況に。「私はATMか！」と思わずツッコミしたそうです(笑)。

性格はかなりの甘えん坊で狩猟犬には程遠く、小鳥が来るそば布団の中に逃げ込むほど。そんな姿は家族に笑いを届けてくれます。

お世話の殆どは1年の6割を日本で過ごす理絵さん。そのせいか、レオく



レオくんは大亦家の7代目ペット（1番左）。それぞれジャングル大帝が名前の由来で、「レオ」くんは2世です。1世は長寿でとても賢かったため、同じように健康やかに育てて欲しいと命名しました。

んはいつも理絵さんの膝の上で仰向けになってリラックス。遊び相手の博さんには構ってくれないと噛みつきに行くやんちゃっぷりな一面も。

今は理絵さんのお家で過ごしていますが、ゆくゆくは博さんのお家に引っ越すそうです。理絵さんの膝の上が大好きなレオくん。引っ越しても居場所が変わらないかも？



レオくんはワンとは吠えず、「ふにふにゆー」など不思議な声で鳴きまわす。その声で家族は癒されているそう。また、寝言もよく言うそうです。今日はどんな夢をみているのかな？